

おまえ大切に  
摘んでゆ人がい  
臭いとい  
きらわ者の  
おまえだった  
道の隅で  
歩く人の足跡を見上げ  
いつそ生きてい  
いつかおま  
必要とす人が  
現れるの  
待っていたかの  
おまえ花  
白十字に似てい

## 自分一人くらい休んでも...という傾向が

K'mio talks

「合唱」というのは、単なる人の集まりです。大きく言えば会社や社会もそうですが、だからこそ一人一人が大事になってきます。オーケストラは一人でも欠けるとかなり深刻です。特に管楽器は。例えば一番オーボエ奏者が、体調不良で本番を欠席、となるとその演奏会が開催できない危機に立たされます。責任重大です。

プロもアマも、合唱をやっている人は、その自覚が管楽器奏者と比べてちょっと足りない...と思う事があります。「自分一人くらい休んでもいいだろう...」と思ってしまう傾向があるような気がします。これから演奏会へ向けて、一回一回の練習がとても重要になってきます。万全の体調を整えて、練習を欠席しないように心がけましょう！！

(Noboru Kamio)

## チャリティーに参加する意味

佐々木 団長の 断腸の思い

チャリティーコンサート目前となりました。震災から1年以上が過ぎましたが、復興への一助としてチャリティーに参加するという意味をそれぞれ思いがおありと思いますが、今一度噛み締めておきたいと思います。チャリティーとは、慈愛・博愛・同胞愛または慈善の精神に基づいて行われる公益的な活動・行為とされています。誰もが持ちうる精神であり崇高な行為と言えるでしょう。チャリティーは公的福祉では賅えない分野を補完するものとして機能しています。その中で「歌」という、誰も心の根差している娯楽であり芸術はチャリティーの精神を呼び覚ますには最適なものではないでしょうか。チャリティーコンサートが、この「歌」で舞台に立つ側も客席側も同じ思いを共有できる空間となつてほしいと思います。

(佐々木 晋)

## わたしの先生

### 人生の後押しをしてくれた言葉や姿



アルト 宮原 由紀

私の先生はこの人と一人に定める事は難しいのですが、今までで心に残った何人かを考えてみると、一人は高校の時の英語の先生です。ある日その先生の単語の小テストの時に、私はメランコリーという単語のスペルを間違えました。些細なことなのですが、その先生は赤ペンで、「あなたのこの小さな憂鬱な気分を次のあなたの飛躍につなげて下さい」と単語と引っ掛けて、英語で評価されていたのです。「憂鬱を憂鬱のままにしていけないな」とその言葉が心に残ったものです。

又、これは私の父の言葉ですが、いつも頑固で多くは話さない父が、ある時とても落ち込んでいた私に「何か良い事があったからとそう喜ばなくていい。とても嫌な事があったからと、そんなに落ち込まなくていい」と言ったのです。その時は何を言っているのだろうと理解出来なかったのですが、今大人になって、父は人生で良い出来事がいい事となるとは限らない。良くない出来事が長い目で見たら、いい結果となる事があると言いたかったんだと思います。

何かにつけて、私の人生の後押しをしてくれた言葉や姿は、それは時に本だったり、音楽だったり、自然だったりしたが、それら全てが、私の人生の先生だったと思っています。

[5月号の訂正] ピアノの赤塚先生を紹介する記事のリードでお名前の表記が間違っていました。正しくは「赤塚伸子先生」です。お詫びして訂正いたします。(編集部)



6/24

チャリティーコンサート  
に向けて

SOPRANO 阿部 紀世

普段、先生からよく言われる言葉があります。「来週迄覚えておいて下さい」。鶏は三歩歩くと物を忘れるといわれています。でも一度学習した事は忘れないそうです。例えば餌場だったり生死をかけた事故から学んだことなど。意外とおりこうさんですね。私たち人間と同じです。

チャリティーコンサートが3日後に迫りました。

一日一回は全曲を歌ってみる。間違えやすい箇所は何回も。出来なければ目を通すだけでも。隣の人の声に頼らず自分の声を信じて。他のパートの声も聞き分けて合わせる。前日は飲みすぎないでよく眠る。

会場は幸いにも経験があるので余裕がもてますね。本番はなるべく譜面から目を離しサ行八行をはっきりと発音。笑顔をもって指揮をよく見、会場の人たちと心をつなぐ楽しんで歌いましょう。



TENOR 佐々木 晋

コンサート直前となり、練習も回数をこなしていますので、あとは自信を持って歌う事だと思います。ただし今回はテノールの人数割合がいつもより多いので、他のパートとのバランスには注意を払う必要があります。本番ではどのパートもそうですが、頑張りすぎて響きが濁りがちなので、落ち着いて力を普段以上に抜いて歌う事が良い結果につながると思います。

5/19 ショコラ・リクリエーション～『高尾山原宿』の巻 ソプラノ 小久保 武子

集合時間は高尾山口駅 10 時だが電車の遅れ諸々で駅を出発したのは 10 時 15 分。山頂までの徒歩コースは 3 つ。幹事の野呂瀬さんが選んだのは 6 号路(琵琶滝コース)。桐朋高校在学中、学校行事で何回か登ったという彼女のペースは終始安定している。さすが！もう一人の幹事・水沼さんは登山初体験だそうだが服装はベテラン。形から入るタイプとか。前日までの曇り空はすっかり晴れて山の大気が匂い出す。総勢 11 人は緑と清流の道をお喋りしながら登る。途中 3 回ほど小休止。12 時ころ山頂に。すごい人出。“高尾山原宿”？。人混みをかき分けて景色を眺める。“関東の富士見百景”だそうだが、富士山は見えなかった。さあ、待望のお弁当！だがちょっとマシな場所はすでにシートが広げている。まるでお花見の場所取り。どこでもいいという気分で陣取ったのは石段の下。身体が斜めの状態で团长差し入れのワインで乾杯。外で食べれば何でも美味しい。下山は「稲荷山コース」。疲れもあるだろうが下りの方がきつい。3 時頃出発地点に到着。温泉に行く組にさよならして帰途に着く。我がヒザくんはこののち 3 日間ほど笑い続けていた。よほど楽しかったらしい。

### 編集後記 2012.6.21

♪ 100 歳の詩人、まど・みちおさん。‘カ’‘蚊’や‘けしゴム’‘つけもののおもしろ’など人が目にとめないようなものに心動かすまどさん。‘おんがく’は、「聴いて、見て、嗅いで、味わって、触って」みるという。なんて簡潔で、味わいのある詩なのだろうか！(三葉)

♪ 自分にとって「ロマンチストの豚」のイメージはアニメの《ダンボ》だ。若い人は知らないだろうな。サーカスの象“ダンボ”は、巨大な耳の所為で皆に苛められるが、母親の愛情とネズミの友情に支えられ、耳を翼代わりにして飛べるようになる。そしてサーカスのスターに...。やなせたかし氏もご覧になったんじゃないかしら。(Kobo)